PTA会長に聞きました……

Q1. 学校に望むことは？
Q2. 地域に望むことは？
Q3. 懸念されることは？
Q4. 完全学校週5日制は子供たちにとって好ましい？

PTA会長はこんなふうに考えています。

岩室小学校
PTA会長
金川　達也

A1 毎週土曜日が休みとなり、家で過ごすことが多くなると思います。しかし、親は休みでなかったり、子どもだけで過ごす『ゲームの日』になりかねません。そこで、学校の空き教室の活用、体育館の開放で、いろいろな体験学習やスポーツ等を、教師ボランティアやPTA会員が主体となり、親も子どもも個性を生かし、互いに〝言葉と心のキャッチボール〟でコミュニケーションできれば、子どもも育ち、親も育つのでは……。

A2 村内には、多くの産業、地域の協力を得て、職業体験を通し、自分の（子ども）進路や将来の担い手などと考えることができるのではないかと思います。恵まれた自然・歴史・人情を継承していけるのも子どもたちです。地域との連携プレーが子どもたちを育てるものと考えます。

A3 せっかくの対応策を実行するにあたり「しかたないから」とか「いつものメンバーばかり」といったように、参加者が決まってしまったり、役員だけの集いにならないかと気がかりです。

A4 好ましい。教育内容も3割減るわけだから、残りの7割をきちんと学ぶことができれば、学力の低下にはならないと思う。教師の質に期待したい。

和納小学校
PTA会長
伊藤　隆行

A1 時数の確保は大事なことですが、学校教育の専門家として、子どもたちに物事の善悪を教えることや、道徳授業には、一層力をいれてほしい。学校の先生の言うことは、よく聞いて実践してくれると思う。もちろん、家庭での〝しつけ〟は重要ですが……。また、家庭学習の課題、つまり宿題や、家でのお手伝い励行等を積極的になげかけてほしい。

A2 休みが増えることで、子ども同士で遊ぶことが多くなります。危険なことをしていたら、我が子と思って、注意していただきたいと思います。また、特に土、日には、子どもたちといっしょになって遊んだり、勉強できる催しをおおいに企画して、ふれあいの中で、声をかけていただきたいと思います。

A3 学校が5日制になったら「学力が低下した」、「非行が増えた」と言われないよう、学校・家庭・地域が連携を密にして、お互いに協力して子どもたちをサポートしていかなければならないと思います。特に、親の役割が最重要と考えます。

A4 好ましい。子どもたちの秘めた能力は計り知れません。それぞれが、思い思いの時間を有効につかうことができるので好ましいことだと思いますが、やはり、親の指導にかかっていると思います。

岩室中学校
PTA会長
山懸　信幸

A1 70時間ほど授業時間が減ると聞いていますが、学力低下をまねかないよう、それらを補おうと宿題を多くしたりすると、『ゆとりある教育』『生きる力を育てよう』と謳っている中教審の学習指導要領とは、かけ離れてくるように思われます。結局、子どもたちに悪影響を及ぼすのではないかと心配されます。しかし、4月から実施される以上、学校では、子どもたちに学習の楽しさ、先生とのふれあい、といったものを引き続き教えていただきたいものです。部活でも、土、日は休止日にするといわれていますが、大会スケジュール等に合わせて、柔軟に対応していただきたいと思います。

A2 子どもたちの受け皿で、行政の対応云々という議論がありますが、5日制の本来の主旨は、子どもたちを家庭に戻して、親子のふれあいをもっと深めようということだったと思います。その観点から考えた場合、受け皿は〝家庭〟にあるわけです。じいちゃん、ばあちゃんに育てられた子どもは、心やさしい思いやりのある子が多く育っていると聞きます。今こそ、地域の祖父母とふれあう催し物を考えて、学校を開放していただきたいと思います。その結果、学校というものが、地域の中で更に輝きはじめるのではないでしょうか。

A3 受け皿を心配されている方が多い中で、親自身も、正直戸惑いを隠せないところがあります。得てして、子どもというものは、準備をして「さあ、どうぞ」というと、なかなか目をむけてくれなくて、裏切られることが間々あると思います。心配される受け皿ですが、5日制と一緒に、みんなで考え、長い目で作り上げていってはどうでしょうか。

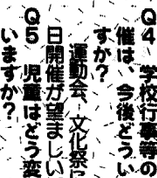
A4 好ましいか、好ましくないかと問われれば、好ましくはないと思います。今の子どもたちは、十分に『生きる力』はありますし、ゆとりある生活を送っているような気がします。休みが増えても、親として認識が変わらなければ何の解決にもならなくて、今のままで推移すると思います。私たち親が、もっと子どもとふれあうという意識を高めて、教えられるようにならなければ、今回の一番の犠牲者は子どもたちなのかもしれません。

Q 学校での学力の評価はどのように変わりますか？

A 子どもたちの学力を、単なる知識の量のみでとらえるのではなく、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力などを身につけているかどうかも含めて評価されることになります。

Q 新しく設けられた「総合的な学習」とはどういうものですか？

A 「総合的な学習」の授業は、各学校が創意工夫して学校ごとに教える内容を決めて行う授業です。子どもたちにとっては、国際理解や情報、環境、福祉、健康など、従来の教科をまたがるような課題に関する学習を行うことができる時間です。この授業のねらいは、子どもたちが各教科の学習で得た個々の知識を結びつけ、総合的に働かせて考えることができるようにすることです。知識を教え込む授業ではなく、自然体験やボランティア活動などの社会体験、観察、実験、見学や調査、発表や討論、ものづくりや生産活動など、子どもが自ら課題を見つけ、自ら学び、考える体験的な学習、問題解決的な学習が展開されます。



和納小学校
校長
佐々木博之

Q1 家庭に望むことは？
・休日を有意義に過ごせるよう、家族の話し合いや決まり作りが必要。
・自分のことは自分で決めさせるようなしつけが大切。
・家族相互のふれあいや絆をより深めてほしい。

Q2 地域に望むことは？
・子どもたちが、必要だと思ったときに受け入れられる施設、団体、サークル等の体制が整備できないか。
・地域みんなで地域の子どもを育てようという意識の啓発がほしい。

Q3 教師と児童のかかわりは変わりますか？
・子ども対教師、教師対保護者のコミュニケーションが今以上に必要になる。
・学力向上のための教師の工夫が今以上に必要になる。
・今までにも増して、生徒指導の充実、安全指導の徹底が求められる。

Q4 学校行事等の土、日、休日開催は、今後どういう形態が理想ですか？
運動会、文化祭に限っては、土、日開催が望ましい。

Q5 児童はどう変わっていくと思いますか？
・家庭とのふれあい、地域での育みが、豊かな心や自主性を育てるものと思う。
・今まで、月2回の土、日経験が生かされれば、基本的にはスムーズな生活ができよう。
・自分で課題を見つけ、進んで解決していける子になってほしい。

『ぼく、私は土曜日をこう過ごす』

和納小学校
3年
中原　潔

ぼくは、土曜日の休みが楽しみです。お母さんや弟と外でドッジボールをやりたいです。雪だるまを作ったり、かまくらを作ったりしてみたいです。たまには、お父さんとキャッチボールをしたいです。少年野球もがんばりたいです。友だちにさそわれてやってみたら、とてもおもしろかったです。キャッチボールがうまくなるといいです。ほかにもいろいろなことがしたいです。今から楽しみにしています。

和納小学校
4年
石井　隆太

土曜日が休みになったら、晴れの日は、外でサッカーの練習をしたいです。リフティング、ドリブル、トラップなど、一人で練習できることもあるし、あと友だちにも声をかけて、パスの練習をして、じょうずになりたいです。勉強は、特に漢字がにがてなので、がんばって練習をしたいです。次に算数をがんばりたいです。特に、面積がにがてなので、がんばりたいです。土曜日が休みになったら、サッカーや勉強をがんばりたいです。

和納小学校
5年
関根智菜美

わたしは、土曜日がお休みになるのでやりたいことが四つあります。一つ目は友だちと遊ぶことです。たくさん遊んで、友情を深めたいです。二つ目は勉強です。予習、復習に一生けん命とり組みたいです。三つ目は買い物です。お金をたくさん貯めて、カワイイ物を買いたいです。四つ目は手伝いです。いろんな人のやくにたちたいです。この外にもいろいろ体験して、土曜日を楽しみたいです。

和納小学校
6年
本多　美里

土曜日が休みになったら、好きな歌を聞きながら、好きな本を読みたいです。そのときだけ頭を休ませて、何冊も本を読みたいです。でも、ただ読むのではなく、自分の作ったおかしを食べながらとか、外のあたたかい所でとか、楽しいことをかさねながら読みたいです。そして、心がおちついたら、また次からがんばろうという気持ちになると思います。私らしいすごしかたをして、いつか私だけのすごしかたになったらいいなと思います。

岩室小学校
3年
大森　桃子

4月から、毎週２日間のお休みになります。わたしは、やりたいことがいっぱいあります。まず、わたしがかわいがっているハムスターの世わをやることです。今もかわいがっているけれど、もっともっとかわいがって世わをします。二つ目は、友だちとあそびたいです。わたしの家の近くの友だちばかりでなく、はなれた家の友だちともゆっくりあそぶつもりです。わたしの家は、おかあさんがしごとをしているので、おかあさんが家にいない日は、ドリルをしてべんきょうもします。おかあさんといっしょに買いものにいくのも楽しみです。

岩室小学校
4年
団原　諒

ぼくは、4月からの学校週5日制が楽しみです。なぜかというと、ぼくはゆとりがほしいからです。ぼくは、野球とバスケットボールをやっています。野球とバスケットボールのどちらも熱中しているので、ちょっとハードなときもあります。でも、とても楽しいので、これからも続けるつもりです。4月から5日制になって、学校は二日続きの休みになります。そうすると、体を少し休めることができるし、家の人といっしょに買い物に行ったり、どこかへでかけることもできます。今よりもっと楽しく練習もできそうなので、４月になるのが待ち遠しいです。